

東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

「たまご育てプロジェクト」募集要項

1. プロジェクトの趣旨

スポーツを起点として、21世紀の社会に、後世につながる「レガシー」を遺していく。そんな想いから東京マラソン財団の「スポーツレガシー事業」は始まりました。人と人とのつながれることのかけがえのなさを誰もが実感している今、スポーツが持つ力に対する期待や関心はこれまで以上に高まっています。

20周年の記念大会となる東京マラソン2027に向けて、「世界一の街（東京）で世界一のシティマラソン（東京マラソン）」を目指している中で、スポーツレガシー事業は、スポーツの「夢」「礎」「広がり」「力」の4つのコンセプトの基で、様々なプロジェクトを支援してきました。

今回新たに公募する「たまご育てプロジェクト」は、社会課題の解決に向けた、新しい・ユニークな取り組みにチャレンジしている団体やこれまで支援していない分野・領域も対象とし募集することで、スポーツを起点とした「夢」「礎」「広がり」「力」をつくる担い手が誕生することを期待するものです。

私たちは東京マラソン財団スポーツレガシー事業の公式ウェブサイトや財団SNSを通じてPRを行いながら、団体とその事業の成長を後押ししていきます。

2. スポーツレガシー事業のテーマ

- 1) スポーツの夢（強化育成）…アスリートの強化、ジュニアアスリート育成、キャリア支援
- 2) スポーツの礎（環境整備）…スポーツ施設などの環境整備
- 3) スポーツの広がり（普及啓発）…スポーツ大会の支援及び普及啓発
- 4) スポーツの力（社会貢献）…スポーツイベント等を通じた社会課題解決への試み

3. 対象となるプロジェクト（重点課題）について

助成の対象となるプロジェクトは「プログラムの趣旨」に合うものとしますが、スポーツの力（社会貢献）=「スポーツイベント等を通じた社会課題解決への試み」として、特に下記の3点を重点課題として助成します。

- 1)子育て支援や子どもの健康・福祉向上のための活動
- 2)障がい者の自立支援や福祉向上のための活動
- 3)社会や都市の様々な課題解決に取り組むスポーツ・芸術・文化の活動

以上の重点課題に限らず、スポーツの夢・礎・広がり・力に特化した取り組みも助成対象とします。

4. 対象となる団体

- 1)日本国内にて法人格(一般財団法人*、一般社団法人*、公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利活動法人(NPO 法人))を取得している団体又は任意団体*
- *一般財団法人、一般社団法人及び任意団体については非営利性が徹底された法人のみ対象とします。
- 2)国内で活動をしていること。
 - 3)当財団各種手続きについて日本語での対応が可能であること。
 - 4)情報公開・説明責任能力があること。
 - 5)設立の日から 3 年を超える期間が経過していること。
 - 6)直近 3 年間において、法令違反、不正行為、公益に反する事実がないこと。<例: 情報漏洩、行政処分、労働訴訟等>
 - 7)当財団が定める欠格事由([reason_for_disqualification.pdf](#))に該当しないこと。
 - 8)助成事業が社会課題の解決に直接的に寄与する事業であること。
 - 9)助成事業が宗教的又は政治的な宣伝・主張を目的としないこと。

5. 期待するアクション

本プロジェクトは、東京マラソンや東京レガシーハーフマラソン等を通じたチャリティランナーからの寄付金を用いて実施されるため下記アクションを期待します。

- 1)寄付者へ感謝を示す機会をつくること
 - ①イベント等に寄付者を招待する

②東京マラソン財団のウェブサイト・SNS 等でイベント・事業報告をする

2) スポーツレガシー事業の普及を支援すること

①助成事業の広報物に「スポーツレガシー事業の寄付金で実施している」旨を明示する

②イベント時にスポーツレガシーフラッグを掲出し、写真撮影する

※フラッグは財団にて用意します

3) 助成金事業の計画書・報告書を提出すること

※指定フォーマットあり

また将来的には、東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」の寄付先団体として参加していただくことを期待しています。

RUN with HEART の活動は公式ウェブサイト(<https://www.runwithheart.jp/>)をご覧ください。

6. 対象となるプロジェクトの実施期間

2026 年 4 月～2027 年 3 月末

複数のイベントを実施する場合は、2027 年 2 月・3 月に盛り上がりのあるイベントが実施されることが望ましいです。

7. 助成件数及び助成金額の上限

助成件数 5 件程度

助成金額の上限(1 件につき) 100 万円

8. 助成期間(要確認)

最長 2029 年 3 月まで

※1 年毎に報告書を審査の上、継続の有無と助成金額を決定します。

9. 対象となる経費

対象となる経費は、「たまご育てプロジェクト」事業の実施に必要な経費とします。

本制度の助成金は財務諸表上、受け入れがわかるように記載してください。

10. 申請手続き・申請受付期間

2025年12月1日(月)10:00～2025年12月19日(金)17:00

申請にはGoogle フォームを使用します。

下記の書類を別途メール送付してください。申請期間中に書類が届かない場合、申請は無効となります。

<必要書類>

- ・団体定款
- ・団体の事業計画書・予算計画書・事業報告書・決算書
※用意できる最新のものをご提出ください。
- ・助成金事業収支予算書(指定フォーマットあり)

<送付先>

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業担当

sportslegacy@tokyo42195.org

11. 審査のプロセス

審査については書類選考を経て、第三者を含めた審査会で団体を選定し、「東京マラソン財団 スポーツレガシー事業運営委員会」の承認をうけて決定します。

<審査のスケジュール(予定)>

- ・一次審査(書類):12月22日(月)～12月24日(水)

- ・二次審査書類提出期間:12月25日(木)～1月9日(金)

＜必要書類＞

下記内容を含む 6 ページ以内の助成事業企画書

- 1) 応募動機・スポーツレガシー事業への想い
- 2) 助成事業内容(重点項目)
- 3) 助成事業の中長期計画(重点項目)

＜送付先＞

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業担当

sportslegacy@tokyo42195.org

- ・二次審査(書類): 1月13日(火)～1月16日(金)

※二次審査は、一次審査通過団体のみ行います。

※書類の内容に関して、メールで質問する場合があります。その際は回答をお願
いします。

※任意団体の場合、対面形式(オンライン可)の面接を実施します。

- ・「東京マラソン財団 スポーツレガシー事業運営委員会」の承認

＜審査のポイント＞

- ・活動実績 : 3 年以上の継続的な活動を実施しているかどうか
- ・実現性 : 今回のプロジェクトの実現性が担保されているか
- ・独自性 : 活動の独自性があるか
- ・発信力 : 団体として広報・情報発信力があるか

12. 結果の通知

- ・一次審査:12月25日(木)
- ・二次審査:2026年2月上旬

※一次審査、二次審査の結果については、採否に関わらずメールでお知らせします。

※採否に関するお問い合わせ・採否の理由等については、お答えできませんのでご了承ください。

13. 助成金の交付

助成金交付申請書の提出(指定フォーマットあり)により、振り込み先口座情報を確認の上、助成金の振り込みを行います。